

平成 28 年度中小企業等特許情報分析活用支援事業  
特許情報分析報告書 (③審査請求段階)

利用者

担当者

様

案件番号 2016-XXXX

2016 年 X 月 10 日

株式会社プラム技術研究所

|                  |              |           |                |
|------------------|--------------|-----------|----------------|
| 調査種別：<br>③審査請求段階 |              |           |                |
| 発明の名称：           | 装置           |           |                |
| 出願番号：            | 特願 2016-xxxx | 出願日：      | 2016/5/1       |
| 優先権主張番号：         | USxxxxxxx    | 優先日（優先国）： | 666666/333（米国） |
| 公開番号：            | 特開 2016-xxxx | 公開日：      | 2016/10/10     |
| 出願人：             | ■■株式会社       | 発明者：      | ◇◇◇、◇◇◇、他 1    |
|                  |              | 代理人       | x x x、他        |

|          |    |      |    |                                 |                     |
|----------|----|------|----|---------------------------------|---------------------|
| 調査<br>範囲 | 国名 | 公報種別 |    | 調査期間（公報発行日）                     | 添付書類：公報 3 件         |
|          | 日本 | 公開系  | 特許 | 平成 5 年 1 月 1 日～平成 28 年 4 月 28 日 | (内訳)                |
|          |    | 公開系  | 実案 | 平成 5 年 1 月 1 日～平成 28 年 4 月 28 日 | ・ X 判定 1 件、Y 判定 2 件 |

## 【請求項数・構成要件文節】

独立項：1 項、従属項：5 項

CL1: (独立項)

- (A) 軸方向
- (B) 前記光  
有する
- (C) 前記カ  
具と、
- (D) を有す

CL2:

- (E) 前記光  
動部を

CL3:

- (F) 前記駆  
軸まわ  
を特徴

CL4:

- (G) 重力方  
に応じ

CL5:

- (H) 前記駆  
部を位  
載の医

CL6:

- (I) 前記光  
の医療

## 【調査対象の把握・調査の観点、分類の説明、及び、総合コメント（調査結果要旨）】

・光学装置であって、2系統（枚）の構成と、且つ、2系統が合流する構成が本発明の技術思想と判断し、光

学装置全般の技術分類とフレーズ（キーワード）を選択し検索式を構築し、該当した文献についてスクリーニング調査を実施しました。

- 光学装置であって、2系統（枚）の構成と、且つ、2系統が合流する構成を開示する資料：特開平 9-24XXXXを抽出しました。しなしながら、当該資料では、対向する位置とする構成については開示がありません。
- 光学装置であって、2系統（枚）の構成を開示する資料：特開平 8-8XXXXを抽出しましたが、「集約」、「対向」については言及がありません。
- また、光学装置ではありませんが、2系統の構成を開示する資料：特開平 7-23XXXXを抽出しました。しかしながら、接続部は対向する位置とする構成については開示がありません。
- 以上の通り、抽出資料の開示する技術思想または周知技術を組み合わせても、主として要件 CL1(D)をカバーする技術思想の不足により、本件発明の進歩性に対抗する論理構築は難しいと考察しています。

【調査結果】

| 文献番号<br>出願人            | 判定 | 関連請求項<br>番号   | 開示箇所及び開示内容  |
|------------------------|----|---|---|
| 特開平 9-24XXXX<br>■■株式会社 | X  | CL1<br>(A)(B)(C)(D)<br><br>CL2(E)<br>CL3(F)<br>CL4(G)<br>CL5(H)<br>CL6(I) | <p>(A): [0024]<br/>前記硬性鏡 3 … 像や瞳の伝送光学系であるリレーレンズ系が設けられて</p> <p>(B): [0039]<br/>… 硬性鏡 3 の回転に連動して、撮像素子 2 4 に対して回転可能な構成<br/>[0065]<br/>この際、硬性鏡 3 と一体となって瞳選択絞り 3 4 が回転し、ギア 6 3 ~ 6 8 により同じ角度だけ逆向きに撮像素子 2 4 が回転する</p> <p>(C): [0039]<br/>… アダプタ 3 5 により硬性鏡 3 の回転によらず撮像素子 2 4 を一定の姿勢に保持できる構造</p> <p>(D): [0064]<br/>… 術者はアダプタ 3 5 a の外管 6 1 を保持し、他方で硬性鏡 3 を所望の方向に回転させて<br/>・「保持」について言及している。</p> <p>(E): [0039]<br/>… 硬性鏡 3 の回転に連動して、撮像素子 2 4 に対して回転可能な構成<br/>[0065]<br/>この際、硬性鏡 3 と一体となって瞳選択絞り 3 4 が回転し、ギア 6 3 ~ 6 8 により同じ角度だけ逆向きに撮像素子 2 4 が回転する</p> <p>(F): [0039]<br/>… 硬性鏡 3 の回転に連動して、撮像素子 2 4 に対して回転可能な構成<br/>[0065]<br/>この際、硬性鏡 3 と一体となって瞳選択絞り 3 4 が回転し、ギア 6 3 ~ 6 8 により同じ角度だけ逆向きに撮像素子 2 4 が回転する</p> <p>(G): [0045]<br/>… TVカメラ 5 には重力により撮像素子 2 4 が常に一定の方向を向くようにウエイト 5 0</p> <p>(H): [0039]<br/>… 硬性鏡 3 の回転に連動して、撮像素子 2 4 に対して回転可能な構成</p> <p>(I): [0028]<br/>… 視野方向を斜視化</p> <p>コメント 斜視内視鏡において、軸方向光学系と撮像素子（および結象光学系）とが相対的に回転自在に接続されている構成、技術思想を開示し、且つ、「保持」についても言及があり、X 判定と考察した。</p> |

|                                |          |   |  |
|--------------------------------|----------|---|--|
| <p>特開平 8-8XXXX<br/>××株式会社</p>  | <p>Y</p> | <p>CL1<br/>(A)(B)(C)(D)<br/><br/>CL2(E)<br/>CL3(F)<br/>CL4(G)<br/>CL5(H)<br/>CL6(I)</p> | <p>(A): [0027]<br/>…本体光学系 1 4<br/>(B): [0027]<br/>…本体光学系 1 4 に対して、その後方に配置されている回転ユニット 1 6 を相対的に回転<br/>[0025]<br/>…回転ユニット 1 6 には…撮像素子 1 8 が設けられ<br/>(C): [0027]<br/>…本体光学系 1 4 に対して、その後方に配置されている回転ユニット 1 6 を相対的に回転<br/>(D): [0025]<br/>立体視内視鏡 1 の主要部<br/>(E): [0027]<br/>…本体光学系 1 4 に対して、その後方に配置されている回転ユニット 1 6 を相対的に回転<br/>(F): [0032]<br/>…本体光学系 1 4 に対して回転ユニット 1 6 を回転<br/>(G): [0031]<br/>…左右 (R, L) の撮像素子 1 8 には被写体の重力方向と一致した像<br/>・重力検知部については言及がないが、重力方向を意識することは示唆している。<br/>(H): [0027]<br/>…本体光学系 1 4 に対して、その後方に配置されている回転ユニット 1 6 を相対的に回転<br/>・特に回転角度指定の制限については言及がない。<br/>(I): [0035]<br/>…斜視観察に伴う像の姿勢の補正を可能<br/><br/>コメント 立体もしくは斜視内視鏡において、軸方向光学系と撮像素子（および結象光学系）とが相対的に回転自在に接続されている構成、技術思想を開示している。しかしながら、「保持」については明示がない。本件発明では「保持具」細部（特徴）の技術範囲が明確でないため、自明な技術と判断できるが、敢えて Y 判定とした。</p> |
| <p>特開平 7-23XXXX<br/>○○株式会社</p> | <p>Y</p> | <p>CL1<br/>(A)(B)(C)(D)<br/><br/>CL2(E)<br/>CL3(F)<br/>CL4(G)<br/>CL5(H)<br/>CL6(I)</p> | <p>(A): [0088]<br/>前記入力部 3 は、細長の挿入部 3 3 を有し…対物光学系 3 4 と、…リレー光学系 3 5 と、照明光を伝送するライトガイド 4 3 が配置さ<br/>(B): [0089]<br/>また、出力部 4 は、…、撮像素子 4 0 a, 4 0 b とを有し<br/>[0086]<br/>…入力部 3 と出力部 4 の境界である連結部 1 7 で回転可能な構成<br/>(C): [0045]<br/>前記入力部 3 と出力部 4 との相対的な回転<br/>(D): [0151]<br/>…回転用のレバー 8 5 a を突出<br/>(E): [0086]<br/>…入力部 3 と出力部 4 の境界である連結部 1 7 で回転可能な構成<br/>(F): [0151]<br/>…回転用のレバー 8 5 a を突出<br/>・「駆動部」を示唆している。<br/>(G): [0111]<br/>…入力部 3 と出力部 4 とが連結部 1 7 において回転可能としたことで、視野方向と重力方向の一致を図っている。<br/>・「検知」については言及がないが、重力方向の示唆がある。<br/>(H): [0151]<br/>…回転用のレバー 8 5 a を突出</p>   |

|   |  |   |
|---|--|---|
|   |  | (I): [0034]<br>前記立体視硬性内視鏡 2 の入力部 3 は、先端が斜視型   |
|   |  | コメント 立体もしくは斜視内視鏡において、軸方向光学系と撮像素子（および結象光学系）とが相対的に回転自在に接続されている構成、技術思想を開示している。しかしながら、「保持」については明示がない。本件発明では「保持具」細部（特徴）の技術範囲が明確でないため、自明な技術と判断できるが、敢えて Y 判定とした。 |
| 資料判定：「X 判定」発明の核となる要件、並びに、主たる全要件を開示する、と思われる資料<br>「Y 判定」発明の核となる要件を開示・示唆する、と思われる資料<br>「Z 判定」従来技術資料、または、参考的資料 |  |   |

## 【利用データベース・検索式】

NRI サイバーパテントデスク 2 (分類記号の検索則＝無印：前方一致、^：階層、\$：完全一致)

| No. | 検索ターム   | 検索式               | 件数        |
|-----|---------|-------------------|-----------|
| 1   | 公報発行日   | 19930101:20160428 | 8,762,051 |
| 2   | WD      | リレー+光学系+レンズ系      | 894       |
| 3   | WD      | カメラ+撮像+撮影+画像      | 2,679     |
| 4   | (論理式)   | 1*2*3             | 84        |
| 5   | (論理式)   | 1*(2+3)           | 2,982     |
| 6   | 全 IPC   | G02B24^+ . . .    | 122,240   |
| 7   | 全 FI 記号 | G02B24^+ . . .    | 121,631   |
| 8   | F ターム   | 4H040+ . . .      | 107,385   |
| 9   | WD      | 撮影+撮像             | 15,777    |
| 10  | (論理式)   | 5*(6+7+8+9)       | 399       |
| 11  | WD      | 光学装置              | 64,319    |
| 12  | (論理式)   | 5*11              | 132       |
|     | 該当件数    | 4+10+12           | 485       |

|   |                 |      |      |
|---|-----------------|------|------|
| 株式会社プラム技術研究所                              | 案件番号：2016-XXXX  |      |      |
| 部 署：知財ソリューション部<br>報告書作成者：○○○○（報告責任者：△△△△） |                 | (承認) | (作成) |
| 受付日：2016年V月W日                             | 入金確認日：2016年V月W日 |      |      |
| 報告日：2016年X月Y日                             |                 |      |      |